

# 令和4年度 第4回下野市環境審議会 議事録

日時:令和5年3月10日(金) 午前10時～午前11時15分

場所:下野市役所 2階 203会議室

出席委員:中村祐司会長、青木照美委員、荒川浩子委員、後藤勲委員、

大高京子委員、渡邊欣宥委員、隅谷サヨ子委員、野沢定雄委員、

新井有明委員、大橋禎恵委員、熊田裕子委員

欠席委員:野田善一委員、桑川祐子委員、

事務局:直井市民生活部長、篠崎環境課長、松本課長補佐、福田主幹、三代主査、山口主査

## ○次第

1 開 会

2 市民生活部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

(1) 第2次下野市環境基本計画(案)パブリックコメント結果について

(2) 第2次下野市環境基本計画への答申(案)について

(3) ごみ処理等について

(4) その他

5 閉 会

## 配付資料

資料1 第2次下野市環境基本計画(案)パブリックコメント結果

資料2 第2次下野市環境基本計画(案)

資料3 第2次下野市環境基本計画への答申(案)

## 1.開会

篠崎課長 皆さまこんにちは。定刻前ですが皆さまお揃いですので、ただ今から令和4年度第4回下野市環境審議会を開会いたします。

はじめに市民生活部長の直井からあいさつを申し上げます。

## 2.市民生活部長あいさつ

直井 市民生活部長の直井です。改めましておはようございます。本日はお忙しい中ご出席をたまわり誠にありがとうございます。ここ2~3日暖かい日が続きまして桜の開花が気になるところです。3年間一緒に生活してきましたマスクの着用は、来週から個人の判断ということですが、市役所では当面の間マスクを着用して業務を執行することとなります。

さて、1月17日に開催しました第3回環境審議会でご報告しましたように、第2次下野市環境基本計画案につきまして、パブリックコメントを1月25日から2月15日まで、3週間実施いたしました。結果につきましては4名の方からご意見をいただきました。詳しくは今日の議事でご説明いたしますので、後ほどご確認のほどよろしくお願いたします。

本審議会では、これまでの取組の成果や課題、今日の世界的な環境情勢を踏まえ、目指すべき環境都市としての在り方を検証し、第2次下野市環境基本計画について活発な議論と貴重なご意見をいただきました。大変ありがとうございました。また、令和3年8月の審議会から2年間という長きにわたり、お忙しい中委員を務めていただきましたこと心より感謝申し上げます。

最後に、持続可能な地域社会の構築を目指した本計画は、市の様々な計画と連携し、環境に配慮した事業を進めることで、下野市総合計画を環境の観点から支えるものであり、環境教育や環境保全活動を進めつつ、自然と共生し、安全・安心して暮らせる環境のまちを、協働社会の形成という観点から進めて参りたいと考えておりますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

## 3.会長あいさつ

篠崎課長 続きまして中村会長からごあいさつをいただきたいと思います。

中村会長 皆さんおはようございます。今、直井部長から気候について、この頃信じられないぐらいに暖かくなってきたことと、マスクのことのお話がありました。（マスクのことは）本当にありがたいのですが、ちょっとどう判断すれば、場面、場面で迷うところでありますなか、下野市のスタンスを最初にお示ししていただきありがとうございます。また、この環境審議会も、気づけばというと大変失礼ですけれども、もう2年間ということですので。本当にこれまでも皆さんの誠意で、真面目に、真剣に、当事者意識でもって、ご意見をいただいたことで、いよいよこの日を迎えることができました。また、直井部長からもありましたように、パブコメでも、結構本質的というようなご

指摘もありましたし、あるいは皆さまのご承認をいただければ答申書の方も、予定ですと、今日この後、昼近く、直接市長に私の方からお渡しできるという機会もできました。また、答申書の方も委員の方から、非常に細部についても最後まで語句のご指摘を受けたりしました。ありがとうございました。

それから、私の勝手な運営ですけれど、ごみ処理等の各論を、環境審議会は教育面も実践面もあり、まちづくりの面もあり、意識の面もあり、非常に多彩、多様なのですけれども、そのひとつの各論という関係もありますので、できれば、今日、今年度の最終回ということもあって、ごみ処理の具体的なことについても、皆さんもこの所を言いたかった、こういったことがないようにとか、少し時間をいただいて、全体論ではないのですが重要なことなので、皆さんのお知恵をいただく機会を最後にいただきたいと思います。

いよいよ、だんだんと外に向けて動き出す良い季節になってきたと感じる毎日ですが、今日もどうかよろしく願いいたします。

篠崎課長

議事に入る前に資料の確認をさせていただきたいと思います。事前に送付させていただきました資料として、

資料1：第2次下野市環境基本計画（案）に対するパブリックコメント結果について、資料2：第2次下野市環境基本計画（案）、それと併せまして、エネルギーの活用についての1枚、資料3：第2次下野市環境基本計画への答申（案）、資料3の答申（案）につきましては、事前に修正後の案を送付させていただきましたが、改めまして皆さまの机の上にお配りしております。

それと追加資料として、燃やすごみ減量化に関するチラシ、表紙の案が出来上がってきましたので案としてお配りさせていただいています。以上、お揃いでしょうか。

また、名簿で4番の野田委員と8番の条川委員から欠席のご連絡をいただいておりますので、本日の出席委員は11名となります。下野市環境審議会規則第3条第3項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議は成立していることを報告します。

それでは、同規則の第3条第2項の規定によりまして、これ以降の議事進行を中村会長にお願いしたいと思います。よろしく願いします。

#### 4.議事

中村会長

早速始めさせていただきます。議事に入る前に会議録署名人の指名をさせていただきます。本日の会議録署名人を名簿順で11番の新井委員、12番の大橋委員にお願いいたします。よろしく願いします。

#### 議事(1) 第2次下野市環境基本計画（案）パブリックコメント結果について

中村会長

それでは(1)第2次下野市環境基本計画（案）パブリックコメントの結果につきまして、事務局より説明願います。

事務局

資料1の「第2次下野市環境基本計画（案）パブリックコメント結果」について説

(三代) 明いたします。令和5年1月25日から2月15日までの3週間パブリックコメントを実施した結果、4名15件の意見がありました。年齢としましては60代の方が3名、70代の方が1名となっていて、全てメールで寄せられたものになります。内容として大きく分けまして、ごみに関するものが5件、原発に関するものが3件、太陽光発電に関するものが2件、100%地下水の水道水に関するものが2件、地球温暖化等に関するものが1件、その他2件の合計15件です。

それでは、1番の質問につきましてご説明をさせていただきます。

(以下、資料1の内容について、意見の内容と意見に対する市の考え方について、1～15の順に説明。説明略。)

20ページの「エネルギーの活用に向けて」のところで、資料2の方に「エネルギーの活用に向けて」の前に《コラム》と入っていますが、こちらは削除させていただきます。

最後になりますが、配布資料の説明の中にありましたA3横になっています環境基本計画の表紙の資料ですが、資料2の方では間に合わなかったのですが、表紙をこちらのようイメージに差し替えさせていただきたいと思っております、お示しいたしました。説明としましては以上です。

中村会長 今、パブコメが10数件出てきて、恐らくお一人の方が複数出していることもあるでしょうが、かなり明確な答えがしがたい問題というか、例えば原子力の問題なんかもあり、反対や賛成など世論も分かれている状況があるのですが、意見として出していただいて、こちらとしては誠心誠意対応して、説明させていただくところは説明していくということで大変だったと思います。

それから、パブコメ前の内容が間違っているというか、少しでもより良いものにするということで、直すべきものは少し修正をかけた、重複している部分もありますので、この資料に記載したところは修正したという説明がありました。

中村会長 いかがでしょうか。こういう記述はいけないとか、この環境審議会でも温暖化って本当なのだろうか、あるいは原発に対する評価も、皆さんで違っていると思う箇所もあるかもしれません。地下水のこともなかなか難しいのですけれども、できることで答えさせていただいたということになるのですが、よろしいでしょうか。

各委員 (特に意見なし。)

中村会長 ありがとうございます。それではこの修正を反映した第2次下野市環境基本計画(案)を了承されたということでよろしいでしょうか。

各委員 (「はい」との発言あり。)

中村会長 ありがとうございます。最後の最後まで、ありがたいのですが、かなり思いがこもった方々、活動されている方々の思いをぶつけていただいたということを受止めて、反映してきていますということを、皆さまから了承されました。

良かったですね。我々環境審議会として、これは(意見に対する考え方は)こう直した方が良いということではなく、良く工夫していただき、これは行政手続きで、未来志向というか、ちゃんと年代の上の方の意見も入っていますので、良いですね。

ありがとうございます。我々環境審議会として第2次下野市環境基本計画（案）を了承したとします。

## 議事（2） 第2次下野市環境基本計画への答申（案）について

中村会長 それでは（議事が）もうひとつあります。これは委員の方から、非常に良く見ていただいて、私もより良いものになったと思うのですが、（2）の第2次下野市環境基本計画への答申（案）につきましてお諮りしたいと思います。これについての説明を願います。

事務局 お配りいたしました資料3 第2次下野市環境基本計画の答申（案）についての説明になります。こちらの方で最初にお配りしてご覧いただいた資料ですが、ご意見をいただきまして、修正したものを皆さまの机の方にお配りしております。そちらに基づいてご説明をいたします。

答申案の裏面、3か所ほど黄色いマーカーで示した箇所が修正箇所です。

（以下、資料に基づき修正箇所について説明。説明略。）

中村会長 ありがとうございます。私が目を通した際には、平成の所を西暦に直すとか、2030年行動計画をちょっとかぎかっこにするとか、表層的なところだったのですが、その後委員の方からは、本当に熟読していただき、（ご意見をいただいたことは）本当にそのようだなと思いました。それを受けて修正をしたということです。

非常に胸を張って出せる答申、紋切り型ではない答申（案）になっているのではないかなと思いますが、皆さんいかがでしょうか。基本計画は勿論なのですが。

それでは、この答申（案）についても、了承してよろしいでしょうか。

各委員 （意見なし。）

中村会長 ありがとうございます。本当にギリギリまで皆さまが目を通して、チェックしていただいて、より良い答申となります。環境審議会でもってこの（案）を取って良いということですね。それでは答申（案）から（案）を消してください。

中村会長 それでは、今回はこれで十分ということだったのですが、何かあるのですね。

篠崎課長 本来であれば、当初、ここで市長のタイミングが合えば、答申を渡すことになるのですが、今日は都合がございまして、事務局の方で答申書を提出させていただきたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。なお、時間の都合が会長と合えば、直接お渡しいただければと思いますので、ご了承いただければと思います。よろしく願いいたします。

中村会長 はい。そのようなことになっているということですので、よろしく願いします。

## 議事（3） ごみ処理等について

中村会長 それでは、当初私も考えることがありまして、下野市の環境基本計画のこれからについて自由にご意見をいただく予定でいしましたが、その中の重要な各論の一つとして、私がこれまで皆さまからの新鮮なご意見として学ばせていただいたものの一つに、全体的な内容もありますが、身近なごみ処理があります。ここもかなり熱くとい

うか、いろいろなお考えもありました。実は今日、議題に「ごみ処理等について」を入れさせていただき、長時間ということではないのですが、最後でありますので、説明を受けた後、説明は簡潔にさせていただくとしても、皆さまのご意見、いろいろな考え方を言っていただければ、議事録などに残りますので、そういった形で繋いでいければと思います。是非遠慮なさらずに言っていただければと思います。あとこれに絡むことで、環境全体に関わる大きなことでも構いません。

それでは、(3)のごみ処理等について、説明をよろしくお願いします。

事務局  
(福田)

本日「ごみ処理等について」ということで議題に上げさせていただきました。内容といたしましては前回の審議会でもご報告させていただきました内容と重複する内容もあるのですが、本市を含めた小山広域保健衛生組合、下野市のごみ処理を主に担っている事業組合、小山市と野木町も共同で行っている事務組合ですが、こちらのごみ減量化、特に燃やすごみの減量化が緊急な解決を求められる課題となっています。

小山広域保健衛生組合では、施設自体が一部老朽化し、新たな焼却施設の整備事業を令和5年度から令和8年度までの4年間で行うことになっています。近年の燃やすごみの増加が現在計画されている施設の処理能力では、通常運転の中では、燃やすごみの量が増えていることから処理しきれないという恐れがありまして、そうした場合最終的に民間業者へ外部搬出するというようなことも想定されます。そういうことになれば更なる費用負担が課せられるというような状況にもなるということです。

小山広域保健衛生組合の新規焼却施設稼働が令和9年度に控えているという状況の中で、燃やすごみの減量化、目標としては5,000t程度削減ということが、小山市、野木町、下野市で達成されなければならないという状況になっています。このため、前回にもお話しさせていただきましたが、指定袋、燃やすごみを出していただく際には、今まで皆さまに使っていただいたレジ袋などの袋ではなく、指定された袋を使ってごみをお出しいただくということを一つの施策として検討しているところです。

検討をするに当たって、昨年11月にアンケートを市内でも実施させていただきました次第です。本市としても、小山市、野木町と連携して、指定袋の導入を引き続き検討していくというところですが、それが減量化に大きく貢献できれば良いのですが、その施策だけに依存するというのではなく、これまでと同様に市民の皆さまにごみの減量化の周知徹底をさせていただきたいと思っています。

本日、お手元の方に1枚「燃やすごみ減量化 目指せ！ マイナス86g」というチラシをお配りさせていただいていますが、昨年説明会をいたしました、いくつかの自治会や団体の方から説明会を希望する声があり、説明会の準備を進めていたのですが、コロナ禍で説明会が難しいというところから、こういったチラシを自治会内で配りたいので作ってもらえないかというご要望を数カ所からいただきましたので、その時にお配りした資料です。

先ほど部長の方からマスクの着用についてお話がありましたが、このように、説明会も徐々にできるようになるかとは思いますが、そういった時にご希望があれば日程調整等を行い、改めて説明会等をさせていただき、皆さまに更なるごみの減量化を周

知させていただきたいと思います。この内容につきましては、審議会の中でお話ししており、本日お話しするという内容ではありませんが、市民の皆さまに大きく影響しているところでもありますので、この場でごみの減量化ということにつきまして、今後のことにつきまして簡単ではありますが、ご報告させていただきました。よろしくお願いいたします。

中村会長      ありがとうございました。その背景を含めて説明いただきました。ここは自由なご意見ということでお願いします。

言葉の方で質問ですが、「3きり」は「さんきり」と読めば良いのですか。

事務局      はい、「さんきり」です。

(福田)

中村会長      こちらは「さんきり」で良いですね。「スリーアール」と「さんきり」、語呂合わせとしてなかなか良いですね。「サンアール」といっても通じますね。水切り、食べきり、使いきりですか。

いかがでしょうか。前回、最後の方で「プラの汚れを取ってから」というようなことがあり、最後に時間が尽きてしまったというようなこともありました。それ以外でも良いのですが。

隅谷委員      先日の環境フェアで、私たちのグループのところいらした男性の方で、家の妻はとても厳しくてプラの汚れも全部洗っていますという方もいらっしゃり、すごく関心の高い方もそこまでしなくても良いと言うくらいにきちんとしている方もおります。ちょっとびっくりした反面、雑紙を燃やすごみと思っている方も若い方でした。まだ浸透していないのか関心がないのかということを感じたところです。

先日の広報紙の環境のページのところに、令和3年度の10月から12月に燃やすごみは減って、可燃性の資源ごみは増えたという表示がありましたけれども、これはどのように見ておられるかということをお聞きしたいと思いました。

事務局      10月から12月の期間での比較という形になりますが、実は皆さまも知っておられますクリーンパーク茂原の火災がありまして、今までは、皆さん、石橋地区の方が燃やすごみを直接持って行ったことがあったのですが、結局茂原が12月まで使えないという状況にあり、直接搬入の実績が少なくなったという理由もひとつにあります。ちょっと稀なケースで、今年度4月からごみ処理がスタートしていますので、この結果をこのままとらえて良いのかということとそうでもなく、今後良く確認しなければならぬところもあります。もちろん、皆さま減量化にご理解をいただいて取り組んでおられるところもあり、そういったところもあるのかなとは考えています。皆さまの減量化の取組がストレートにそこに現れているかということまでは、今の段階では言い切れないという現状です。

隅谷委員      分かりました。とても良い傾向だなと思ったものですから、何かの影響が皆さまの心に響いて減量・資源化に進んだのかなと思ったのです。一つにはそういう要因があったということなのですね。

野沢委員      確認なのですが、この資料は非常に良いと思ったのですが、これをお配りしたのは、

説明会を申し込んできた所で出られなかった方、特定の方だけですか。要望からいきますと、これは全自治会で、全世帯に回覧で回すとか、して欲しいなと思ったのです。私のところは6つの班なので私が持っていけば済むのですが、やはり全班で回覧することによって全市民にいくのかなと思うので、どこまで配られたのかなと思ったのです。

事務局  
(福田)

昨年末に説明会を行った時に、その会場にいらっしゃった方が、自治会で説明したいのということです。当初私どもが作成したものは30ページ程度の資料でして、それを配るのは、なかなかボリュームがあり、皆さまに見ていただけるかどうかといったところがありますので、簡単に紙1枚位であれば、みんな見ていただけるのではないかと。そういうご意見があり、そういったものを貰えれば配るとか回すというご意見があったのです。

また、説明会に参加された方が自治会で説明会をやりたいというご意見がありましたので、準備をしていたのですが、やはり人を集めづらいということで、代わりに何か周知できるようなものがないかというお話がありましたので、そういったお話のあった方の所だけに、今回はまだお配りしていませんが、予定していました。

野沢委員  
篠崎課長

是非配っていただきたい。

補足説明としまして、前回も野沢委員から全戸配布なり、回覧なりでどうかというお話がありました。4月以降新しく年度が替わりまして広報を配布する時には、できればそういう方向で検討したいとは考えています。

渡邊委員

このごみの減量化は非常に大きな問題だと思うのです。それで、こういうチラシを配布するものの一つの方法ですが、下野市では毎月1回広報紙を、全自治会を通して配布していますね。その表紙に、この頭にある「燃やすごみ減量化 目指せ！マイナス86g」を継続的に、表紙の一番下でも結構ですので、市民の皆さまの取組目標とか、何とでも良いと思います。で、一世帯(1人1日)当たり86g減らせという、これはやり方一つだと思うのです。

以前にごみの減量化で、燃やすごみをビニール袋で捨てるようになったと私が言ったと思うのですが、どうしても水切りがきちんとされないのです。市の方でも水切りネットの無料配布をやりましたね。そういうことをどんどんPRして行って、86gと言ったら水切りをキッチンとやることだけでも簡単に達成できるというような数値だと思うのです。私も一人暮らしですが、水切りだけはきちんとやっています。

ですからそのPRを継続してやっていただくために、広報紙の、裏表紙ではだめですから、表紙の下の部分に入れていただけるような方法を考えていただけたらいかがでしょうか。

中村会長  
篠崎課長

インパクトがすごくありそうですね。

大変貴重なご意見ありがとうございました。広報の表紙に載せてやるというのが一番良いとは思いますが、ただ、広報は広報で担当がありまして、環境課としては今後こういう取組はしていきたいのだということで要望していきたいとは思いますが、結果としては何とも言えないところです。

また、広報の中にはなってしまう、見づらいとは思いますが、環境課のページが、ほぼ月一ページはありますので、そのページの見出しといった形で載せていくとか、何らかの工夫を考えたいと思いますのでよろしく願いいたします。

中村会長

なるほど、86gというと、ここに「小さめの卵2個」くらいと書いてありますね。一人一人では86gはできるでしょうが、皆さんのような方が頑張っておられるし、やらない方もいます。全員というのは無理かもしれませんが、そういったところを補うということでも、1人当たりということにはなるのでしょうか。できるだけ増やして行きたいですね。他にいかがでしょうか。

決して水を差すということではないのですが、現実的には難しいが、これからやっていくということでしょうかね。

後藤委員

ごみの問題なのですが、お客さまの食べ残しとか、そういうものがあるのですが、実はもうひとつ、これは行政の方に厳しい意見にはなってしまうとは思いますが、下野市だけではなく、県内外から非常に観光案内とか、イベントの案内、ポスターが、大量に道の駅に送られてくるのです。これは当初から予算を取って作っているのですが、それらの焼却がものすごく頭が痛い。（道の駅は）栃木県にありますが、遠いところは秋田県からとか、一番多いのは茨城県などから、ポスター、冊子が大量に送られて来ていて、処分に困っています。栃木県なのであまり茨城県のものを持っていても掲示しないということで、まとめて出しています。10キロになったりすることが日常茶飯事になってしまうので、行政の方もそれぞれの部署で色々な思いで、色々なものを作っているとは思いますが、紙が非常に多くなるということと、その処理が本当に大変なのです。そういった観光案内やポスターの作成というものを、もう少し考えてもらえると、随分ごみが減らせるという気がします。

中村会長

決してできないことではないのですが、貴重なご指摘だと思います。

篠崎課長

各機関それぞれに思いがあって、それぞれお願いしているところであって、一つ一つには我々もお願いできる状況ではありません。

話は変わってしまうのですが、下野市としては、取組の一つとしてデジタルサイネージを用意しています。（市役所の）階段を上がっていく途中にテレビのモニターがあり、ポスターが入れ替わっているのを見たことがあるかと思いますが、このような形の掲示を進めていく活動を進めることが重要だと思っています。実際デジタルサイネージと言いましても、元は紙でできています。それをスキャナーで読んで用意しているということで、市の方もそういうものはPDFなり、デジタルで送っていただけるようなことも進めていかななくてはならないとは考えております。

中村会長

問われているというか、紙が悪という訳ではなく、便利ですね。無かった時には紙にということで。スマホと言われても一画面しかなく。それにしても今のようなご指摘について考えさせられます。私も新聞などは紙なので、溜まってきたとき何か罪悪感というか、かさが張っていいのかなとか、何か考えさせられます。資料一つとってもですね。

隅谷委員

細かいことですが、紙の分別をする時によく封筒の窓のことが話題になるのです。

分別をするためには、窓の所を切り離して資源ごみにしてくださいとよく言われているのですが、調べてみると、紙素材のグラシン紙というのが使われていて、下野市はグラシン紙を使っているそうなのですが、透明でクリアなのはセロファンです。少しくすんだ摺りガラスのようにになっているグラシン紙は、セルロースからできているので、そのまま資源ごみとして良いということが書いてあるのです。そうするとそのまま資源ごみに入れてしまえるので、個人的には良いと思って、会の中で広めているのです。そういう細かいことも、切り取らなくても良いのならば、そのまま資源にできるとか、ちょっと情報を小話に入れても良いのかなと思いました。

中村会長 下野市は良いやり方をしているのですね。積み重ねって大事ですね。窓って最初分からなかったのですが、ビニールの所ですね。封筒一つとってもという世界になってきているのですね。個人的には糊がついているというのは助かるのですが、ごみに出してしまうのですね。

隅谷委員 粘着性の糊の所も気になるのですが、教えてください。

事務局 粘着テープのことですね。できれば外していただきたいです。段ボールなどで大きなホッチキスのようなものも、はずしていただいた方が資源化の効率が良くなります。

中村会長 随分日常的なものがありますね。あの段ボールについているのを外するのが大変というか、つい、ごめんなさいと思いながら縛って出すというのはあまり良くないですね。大変ですよ。ですから、作る側からの工夫が必要かも知れませんね。

荒川委員 先ほど小山広域の方で指定ごみ袋になるような話がされていますので、その辺の進捗状況がわかるように、いつ頃から指定ごみ袋になっていくのか、(値段は)いくらぐらいに考えているのか、分かる範囲で教えていただければと思います。

篠崎課長 指定ごみ袋制度の検討を進めているというところです。未だ決定ではないのですが、概ねその方向で検討が進められているという状況です。

小山広域の方でも役員会の方にその旨を報告させていただいた段階で、新年度早々には、もし取り入れた場合には、どういう方針でやっていくのかという基本方針を固めていこうかという状況です。それが固まりましたら、恐らくその説明について、内容など住民説明会などを進めていくこととなります。

そして、その基本方針をもってパブリックコメントをする、またはパブリックコメントが終わった後で説明会をするという丁寧な説明をしながら、最終的には令和6年度以降の導入を目指せばということで話が進んでいる段階です。

まだ、これからの話ではありますが、そのような状況で、値段等については、申し上げ難いところもあるのですが、先日、広域の方で、現地視察で流山市に行ったらしいのですが、そちらでの値段は45リットルの袋10枚入りで150円、1枚15円程度になるかと聞いています。市販のものとは値段的には若干ですが高くなってしまいうところですが、先ほどもありましたように、小山広域で5,000tを減らすこととなっております。指定ごみ袋制度のアンケートにもありましたが、多くの方は今後も積極的に進めていきたいということも伺っておりますので、大きな効果が見込まれるだ

ろうと思います。それが新しい焼却施設において必須となりますので、進めていければということです。

中村会長       ありがとうございました。

#### 議事（4）その他

中村会長       それでは次のその他ですが、委員の皆さまで何かございますか。よろしいですか。それでは事務局からその他でございますか。

事務局  
（松本）       現計画の市民協働で行うプロジェクトの環境フェアが、1月29日から2月5日の1週間にかけまして、石橋公民館で開催させていただきました。29日当日は、オープニングセレモニーということで、沢山の方が来場されました。今回は、公民館での開催であったため、公民館を利用している方にも見ていただけたのかなと思います。ご協力いただきました、市民会議の方、団体のみなさま、ありがとうございました。また、県で印刷しています「環境かるた」などを使いカルタ大会を行い、いろいろな方に参加していただきました。ありがとうございました。ここで報告させていただきます。

また、環境審議会の委員の皆さまの方は今回任期が満了ということになっておりますが、来年度につきましても、各団体の方には推薦等をお願いしますので、その時はよろしくをお願いします。

中村会長       ありがとうございました。それでは、おかげさまで、今回も皆さまの議事へのご協力をたまわり、議事は全て終了しました。進行の方を事務局にお返しします。

#### 5. 閉会

篠崎課長       会長、進行大変ありがとうございました。なお、第2次下野市環境基本計画が完成いたしましたら、大変恐縮には思いますが、皆さまの方に完成版をお送りさせていただきたいと思いますので、どうぞご了承ください。

それでは、委員の皆さまには長時間にわたり、ご審議いただき誠にありがとうございました。以上をもちまして本日の環境審議会を閉会といたします。大変ありがとうございました。

以上